

小名浜港の将来の空間利用(案)

(小名浜港長期構想)

《 目 次 》

■	1. 小名浜港長期構想について	・ ・ ・	1
■	2. 小名浜港における主要課題の整理	・ ・ ・	3
■	3. 小名浜港の目指すべき方向性（将来像）	・ ・ ・	4
■	4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応	・ ・ ・	6
■	5. 小名浜港の将来の空間利用（案）	・ ・ ・	1 6

令和7年 10月
福島県

1. 小名浜港長期構想について(背景と目的)

背 景

- 小名浜港の港湾整備は平成29年3月に改訂された港湾計画(目標年次:令和10年代前半)に基づき進めている
- 近年の我が国の港湾をとりまく情勢変化は目まぐるしく、また小名浜港においても港湾脱炭素化推進計画を策定する(R6.6)等、新たな要請や課題が顕在化している
- このため、小名浜港をとりまく状況及び課題を整理し、小名浜港における概ね20年～30年後を見据えた長期構想を検討する必要がある

目 的

小名浜港の港湾計画の改訂に向けて、概ね20年～30年後を見据えた長期構想を検討することを目的として「小名浜港長期構想検討委員会」を設置する

長期構想とは

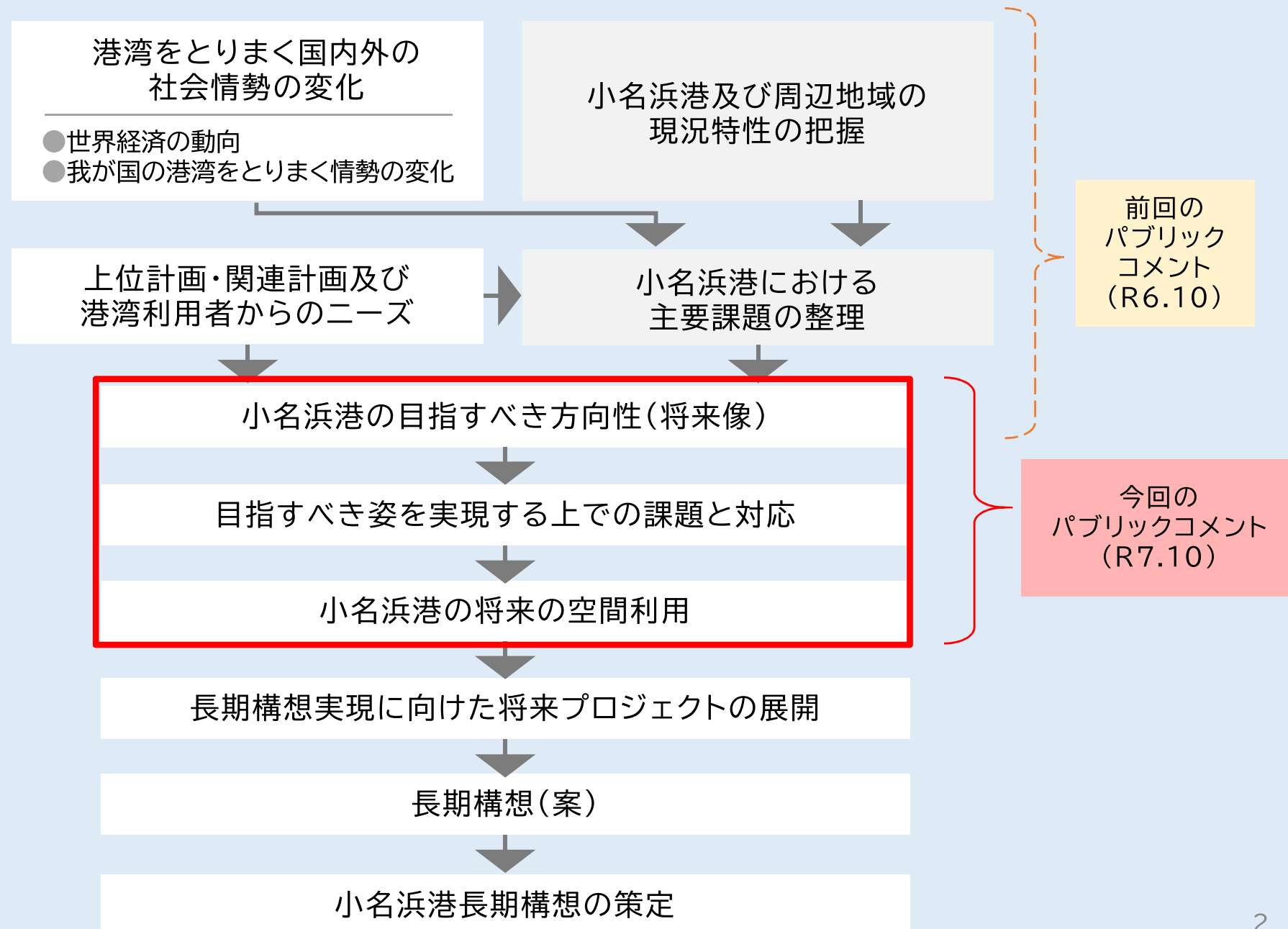
港湾利用者、市民、行政機関、学識者など様々な港湾関係者の意見・要請をもとに概ね20～30年先の長期的視野に立った総合的な港湾空間の形成とそのあり方を構想・ビジョンとしてとりまとめたもの

港湾計画とは

概ね10～15年先における港湾空間のあるべき姿を実現することを目標とした中期計画

※港湾法第三条の三の規定に基づく法定計画

1. 小名浜港長期構想について（パブリックコメントの実施）



2.小名浜港における主要課題の整理(赤字: 前回パブリックコメント時からの修正箇所)

対象地区別の主要課題		目指すべき姿を実現する上での課題
全体	カーボンニュートラルポート実現への取組推進	1-①次世代エネルギーの普及を支える受入拠点の形成
藤原心頭	バイオマス燃料貨物や、洋上・陸上風力部材等の再生可能エネルギー関連貨物の受入への対応	
東港地区	水素、アンモニア等の新エネルギー関連貨物受入への対応 建設発生土の有効活用	
全体	滞船問題への対応	1-②滞船問題の解消に向けた対応
3～7号ふ頭	鉱産品、化学薬品を効率的に扱うための対応(大型船への対応)	
藤原心頭	バイオマス燃料受入れへの対応	
東港地区	石炭輸送船の大型化への対応	1-③港湾施設の老朽化への対応
全体	老朽化した岸壁と荷役機械への対処 港湾労働者の担い手不足への対応	
大剣心頭	コンテナ貨物量増加への対応 サーキュラーエコノミーに対応した港湾機能の確保 モーダルシフト対応拠点の形成 コンテナ輸送船の大型化への対応と機能強化 港湾労働者の担い手不足への対応	
漁港区	漁港区の利便性向上(施設間のアクセス性の向上等) 大型漁船への対応 水産物の輸出への対応	1-⑤水産業の更なる振興につながる対応
アクアマリンパーク	アクアマリンパークのにぎわい向上 / マリンレジャー等を楽しめる親水空間の確保創出	2-①アクアマリンパークの更なるにぎわいの創出
全体	駐車場の確保を含めた交通対策 / 公共交通機関の充実	
サンマリーナ	マリンレジャーを楽しめる空間の提供	
全体	来訪者に回遊を促す仕掛けの創出	2-②小名浜港内の回遊性を創出
アクアマリンパーク	クルーズ船の一層の誘致と受入体制の充実および環境整備	2-③クルーズ船の誘致と受入環境の整備・充実
全体	大型クルーズ船の受入環境の整備	
全体	航行船舶の安全性確保 / 荷役作業時の安全性確保	3-①港湾内の安全性確保 (既定計画の防波堤整備の推進)
大剣地区	大規模災害時のコンテナ貨物受入機能の維持・継続	3-②災害時の物流維持と背後地域を支援する機能の確保
全体	港湾BCP計画の基づく防災体制の充実	
東港地区	東港の津波への避難対策	

3. 小名浜港の目指すべき方向性(将来像)

①次世代エネルギーの普及を支える
受入拠点の形成

②滞船問題の解消に向けた対応

③港湾施設の老朽化への対応

④新たなニーズに対応した物流ターミナル
の形成

⑤水産業の更なる振興につながる対応

物流拠点
(新たなエネルギー
政策を先導)

環境配慮

物流拠点、交流拠点、防災拠点
のそれぞれにおいて、環境の
視点に配慮し取り組んでいく

①アクアマリンパークの更なる
にぎわいの創出

②小名浜港内の回遊性の創出

③クルーズ船の誘致と受入環境
の整備・充実

交流拠点
(地域のにぎわいを創出)

防災拠点
(安全と安心を提供)

①港湾内の安全性確保
(既定計画の防波堤整備の推進)

②災害時の物流維持と背後地域を
支援する機能の確保

福島県の将来像の実現を支える小名浜港

「ひと」「暮らし」「しごと」が調和しながらシンカ(深化、進化、新化)する豊かな社会

3. 小名浜港の目指すべき方向性(将来像)

新たな長期構想の基本理念

産業や生活を支え、
共に創り、つなぐ
”小名浜港”

将来像の変化

次世代エネルギー
の受入れ

港湾における
カーボン
ニュートラル

ドライバーの
2024年
問題

社会情勢の変化

更なる
国際クルーズ船
の受入

激甚化・頻発化
する自然災害
への対応

担い手不足への
対応

現長期構想(H28.12策定)

高度な物流機能と交流空間を
兼ね備えた魅力ある港へ

小名浜港の要請・課題

物流
・滞船の解消
・大水深岸壁の確保
・野積場・倉庫・産業用地の確保 など

交流
・みなとの賑わい創出
・マリーナ施設の復旧・再建
・クルーズ客船の誘致と対応 など

防災
・航路・避難泊地の確保
・静穏度の確保
・災害時物流の確保 など

小名浜港の将来像

- 南東北地域から、東日本地域の物流拠点を目指す
- 観光振興を支える県内の交流拠点として、更なる飛躍を目指す
- 震災の教訓を忘れず、確実に機能する防災拠点を目指す

4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応

1 物流拠点

目指すべき姿を実現する上での課題

1-①次世代エネルギーの普及を支える受入拠点の形成

- ・カーボンニュートラルポート実現への取組推進
- ・水素、アンモニア等の新エネルギー関連貨物受入への対応
- ・バイオマス燃料貨物や、洋上・陸上風力部材等の再生可能エネルギー関連貨物の受入への対応
- ・建設発生土の有効活用

対応案

- 既存インフラを有効活用し、次世代エネルギー関連貨物の受入に対応した岸壁及び埠頭用地を確保する
- 建設発生土の有効活用により新たな埋立用地を確保する
- 東港地区の拡張可能性を検討する

【事例】神戸液化水素荷役実証ターミナル



【事例】洋上ウィンドファーム(福島沖)



1 物流拠点

1-②滞船問題の解消に向けた対応

- ・滞船問題への対応
- ・鉱産品、化学薬品を効率的に扱うための対応
(大型船への対応)
- ・バイオマス燃料受入れへの対応
- ・石炭輸送船の大型化への対応

- 取扱貨物に応じた利用埠頭の見直し(貨物の再配置)を行い、効率的な物流を実現する
- 既設岸壁の改良や新たな岸壁を整備する
(老朽化が進んでいる利用頻度の低い施設を廃止し、より効果の高い施設を整備する＝スクラップ＆ビルド)

東港地区 埠頭利用状況(石炭)



4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応

1 物流拠点

目指すべき姿を実現する上での課題

1-③港湾施設の老朽化への対応

- ・老朽化した岸壁と荷役機械への対応
- ・港湾労働者の担い手不足への対応

対応案

- 老朽化した岸壁の計画的な維持・補修を行う
- 作業効率が良く、環境負荷の少ない脱炭素に配慮した荷役機械を導入する



4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応

1 物流拠点

目指すべき姿を実現する上での課題

1-④新たなニーズに対応した物流ターミナルの形成

- ・コンテナ貨物量増加への対応
- ・サーキュラーエコノミーに対応した港湾機能の確保
- ・モーダルシフト対応拠点の形成
- ・コンテナ輸送船の大型化への対応と機能強化
- ・港湾労働者の担い手不足への対応

対応案

- より多くのコンテナ貨物の取り扱いや新たな取組(サーキュラーエコノミーやモーダルシフト)に必要な埠頭用地を確保する
- 大型のコンテナ船に対応した岸壁を整備する
- 新規貨物の取り扱いに向けてポートセールスを推進する
- 情報通信技術を活用し業務の効率化を図り、高い生産性を有する持続可能なターミナルを形成する

新たな取組(モーダルシフト)に対応したRORO船の活用イメージ

上記の対応案に加え、
コンテナターミナルの移設も含め検討していく



【事例】RORO船の積込状況

出典:福井県HP

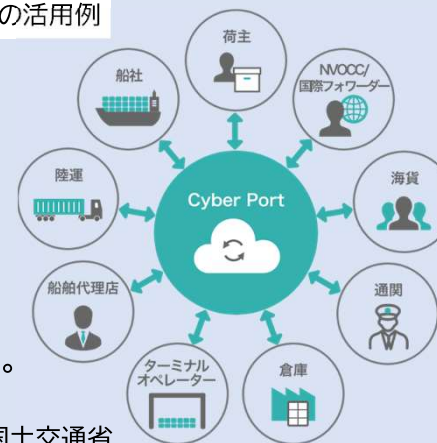


【事例】RORO船の荷役状況

出典:国土交通省「内航海運へのモーダルシフト利用検討ガイド」

港湾における情報通信技術の活用例

Cyber Portは、紙、電話、メール等で行われている民間事業者間の港湾物流手続を電子化することで業務を効率化し、港湾物流全体の生産性向上を図ることを目的としたプラットフォームです。



出典:国土交通省

高い生産性を有する持続可能なターミナルのイメージ



【事例】遠隔操作技術

出典:国土交通省

大剣ふ頭地区

令和6年9月撮影

4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応

1 物流拠点

目指すべき姿を実現する上での課題

1-⑤水産業の更なる振興につながる対応

- ・漁港区の利便性向上(施設間のアクセス性向上)
- ・大型漁船への対応
- ・水産物の輸出への対応

対応案

- 漁港区内の利便性向上を図るため、埠頭内道路を検討する
- 既定計画に位置付けられた施策である防波堤の整備や三崎航路の拡幅等を着実に推進する
- 水産物の小名浜港利用に向けて、改善策を検討する

荷捌き・加工流通倉庫



福島漁連、冷蔵施設



出典: JF福島漁連HP

小名浜魚市場



出典: 小名浜魚市場HP



令和6年9月撮影

4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応

2 交流拠点

目指すべき姿を実現する上での課題

2-①アクアマリンパークの更なるにぎわいの創出

- ・アクアマリンパークのにぎわい向上
- ・マリレジャー等を楽しめる親水空間の確保
- ・駐車場の確保を含めた交通対策
- ・公共交通機関の充実

対 応 案

- 利用者の安全確保や集客力向上のために、既存施設を更新する
- 官民一体となったにぎわい創出に取り組む
- 寄港するクルーズ船の集客効果を利用した地域の活性化を図る
- 海からアクセスできる施設を整備する
- 公共交通機関の充実と駐車場の確保に向け、関係機関との連携を図る

既存施設の更新

官民一体となった
にぎわい創出の取組

海からアクセスできる施設整備

アクアマリンパーク
(1～3号埠頭の緑地・広場)

道の駅
いわき・ら・ら・ミュウ

小名浜さんかく倉庫

アクアマリンふくしま

クルーズ船の集客効果を利用した
地域活性化

公共交通機関の充実等に向けた
関係機関との連携

サッカースタジアム
(建設候補地)

大型商業施設

令和6年9月撮影

●:「いわき小名浜みなとオアシス」の構成施設



海遊祭のにぎわい状況(令和6年)

4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応

2 交流拠点

目指すべき姿を実現する上での課題

2-②小名浜港内の回遊性の創出

- ・いわきサンマリーナにおける
マリンレジャーを楽しめる空間の提供
- ・来訪者に回遊を促す仕掛けの創出

対応案

- いわきサンマリーナの再整備を推進する
- アクアマリンパークといわきサンマリーナの2地点を活用したイベントの誘致や交通機能を検討する



4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応

2 交流拠点

目指すべき姿を実現する上での課題

2-③クルーズ船の誘致と受入環境の整備・充実

- ・クルーズ船の一層の誘致と受入体制の充実および環境整備
- ・大型クルーズ船の受入環境の整備

対応案

- クルーズターミナルを整備する
- 大型の国際クルーズ船も受入可能な施設を整備する



クルーズターミナルを
整備する

アクアマリンパーク
(1～3号埠頭の緑地・広場)

アクアマリンふくしま

道の駅
いわき・ら・ら・ミュウ

小名浜さんかく倉庫

大型商業施設

サッカースタジアム
(建設候補地)

大型の国際クルーズ船も
受入可能な施設整備を行う

3号埠頭



●:「いわき小名浜みなとオアシス」の構成施設

4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応

3 防災拠点

目指すべき姿を実現する上での課題

3-①港湾内の安全性確保 (既定計画の防波堤整備の推進)

- ・航行船舶の安全性確保
- ・荷役作業時の安全性確保

対応案

- 航行船舶の安全性と荷役作業時の安全性確保のために、外郭施設の整備を推進する

外郭施設の整備

- ・沖防波堤
- ・第二沖防波堤
- ・神白防波堤

外郭施設の整備による 避泊水域の拡大

航行船舶の
避泊水域の確保

静穏度向上

避泊の状況



9隻が避泊中

大剣防波堤(波除)
大剣防波堤

港内静穏度
の向上

外郭施設の整備

- ・大剣防波堤
- ・大剣防波堤(波除)

漁港区

1・2号ふ頭地区

東港地区

3号ふ頭地区

4号ふ頭地区

5・6号ふ頭地区

7号ふ頭地区

藤原ふ頭地区

大剣ふ頭地区

既定計画の確実な推進による
港湾利用者への安全・安心の提供

4. 目指すべき姿を実現する上での課題と対応

3 防災拠点

目指すべき姿を実現する上での課題

3-②災害時の物流維持と

背後地域を支援する機能の確保

- ・大規模災害時のコンテナ貨物受入機能の維持・継続
- ・港湾BCP計画に基づく防災体制の充実
- ・東港の津波への避難対策

対応案

- コンテナターミナルにおいて幹線貨物用耐震強化岸壁を整備する
- 東港の津波避難時の施設を整備する



5. 小名浜港の将来の空間利用(案)

【凡例】

●:物流拠点形成に係る対応案 ●:交流拠点形成に係る対応案 ●:防災拠点形成に係る対応案

水産ゾーン

- 漁港区内の利便性向上を図るための埠頭内道路の検討
- 既定計画に位置付けられた施策である防波堤の整備や三崎航路の拡幅等の着実な推進
- 水産物の小名浜港利用に向けた改善策の検討

交流拠点ゾーン

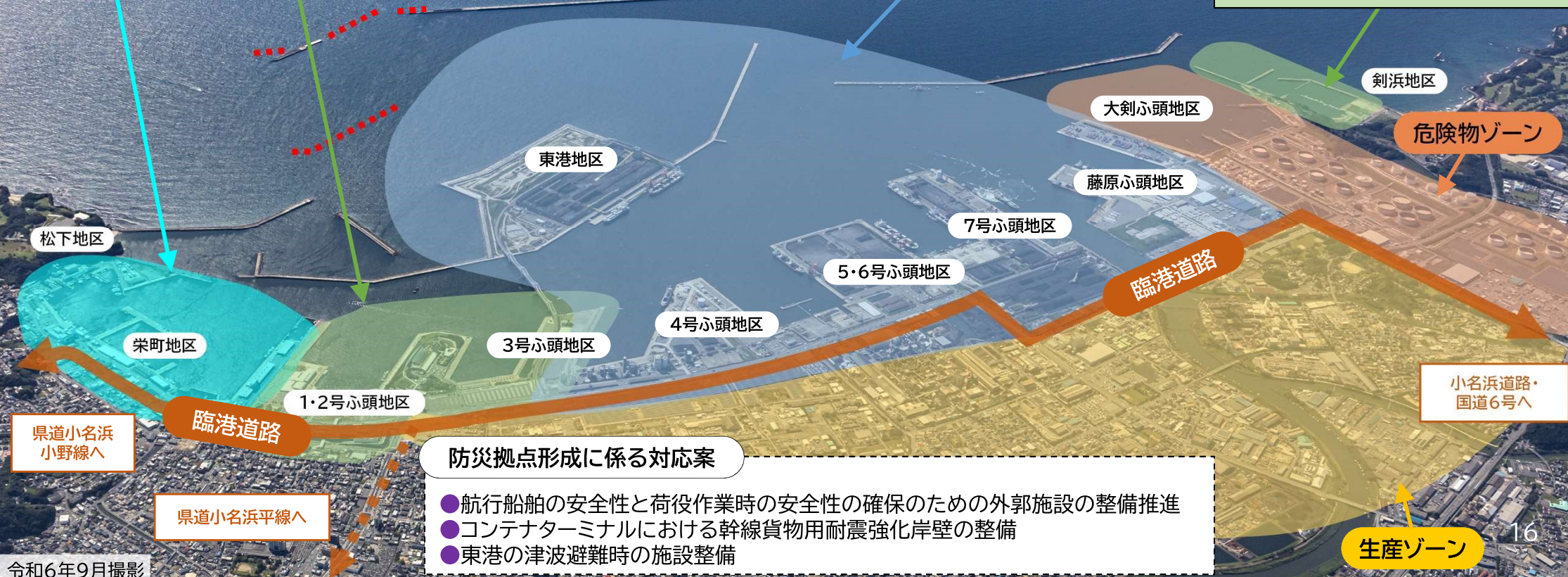
- 利用者の安全確保や集客力向上のための既存施設の更新
- 官民一体となったにぎわい創出の取組
- 寄港するクルーズ船の集客効果利用した地域活性化
- 海からアクセスできる施設の整備
- 公共交通機関の充実と駐車場の確保に向けた関係機関との連携
- アクアマリンパークといわきサンマリーナの2地点を活用したイベントの誘致や交通機能の検討
- クルーズターミナルの整備
- 大型の国際クルーズ船の受入可能な施設の整備

物流関連ゾーン

- 次世代エネルギー関連貨物の受入に対応した岸壁及び埠頭用地の確保
- 建設発生土の有効活用による新たな埋立用地の確保
- 東港地区の拡張可能性の検討
- 取扱貨物に応じた利用埠頭の見直しと効率的な物流の実現
- 既設岸壁の改良や新たな岸壁の整備
- 老朽化した岸壁の計画的な維持・補修
- 作業効率が高く、環境負荷の少ない脱炭素に配慮した荷役機械の導入
- より多くのコンテナ貨物や新たな取組に必要な埠頭用地の確保
- 大型のコンテナ船に対応した岸壁の整備
- 新規貨物の取り扱いに向けたポートセールスの推進
- 高い生産性を有する持続可能なターミナルの形成

交流拠点ゾーン

- いわきサンマリーナの再整備の推進



防災拠点形成に係る対応案

- 航行船舶の安全性と荷役作業時の安全性の確保のための外郭施設の整備推進
- コンテナターミナルにおける幹線貨物用耐震強化岸壁の整備
- 東港の津波避難時の施設整備